

施策番号	9
------	---

## 施策評価シート（評価対象年度：令和元年度）

基本政策	2	健康・福祉
施策名	9	地域福祉
10年後のまちの姿	<p>○“向こう三軒両隣”の関係のように、互いを気づかい支え合う、人にやさしいまちになっています。</p> <p>○住民主体の支え合い活動を通じて、各種の生活支援サービスを含んだ共助を担う組織が地域の中に生まれてきています。</p>	
施策展開の基本的な考え方	<p>行政は、地域の支え合い活動等に対する支援と公的福祉サービスのきめ細かい運用の両輪により、広く困難を抱える市民を支える体制を構築します。</p> <p>市民等は、近所の様子を気にかけて、困った人にはお互いさまの精神で支援を行う地域づくりに取り組みます。</p>	
実現に向けた取組	<p>①地域における異変発見の体制づくり</p> <p>②住民による支え合い活動の推進</p> <p>③複合的な課題に対応する専門的な体制の強化</p> <p>④分野の壁を越えた情報交換や交流の促進</p>	
施策担当課・係	福祉介護課 地域福祉係	
施策関係課・係	総合政策課 行革協働係	

### I 施策の実施状況

#### 1 施策全体の事業費

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費（千円）	75,893	73,628	64,944		
事務事業数	8	7	7		
うち、事務事業評価対象	7	7	5		

#### 2 成果指標の達成状況

指標	単位	基準値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和3年度 中間目標	令和8年度 最終目標
地域支え合いサポーター認定者数	人	0	63	44	57			58	68
多世代交流対応型サロンの数〔累計〕	か所	0	0	0	0			2	4
コミュニティソーシャルワーカー認定者数	人	3	15	16	17			8	13
旧小学校区等（15地区）ネットワーク会議開催地区数〔年間〕	地区	0	0	3	0			5	15

#### 3 施策の進捗状況

達成度	○ 概ね順調
達成度の判断根拠	・各事業の年度目標に対する達成度は概ね順調と思われるが、指標である地域福祉懇談会を開催できなかったことはマイナス要因である。
成果指標による現状分析	・地域福祉懇談会と協働座談会の区別が住民につきにくいいため、地域福祉懇談会の持ち方を検討する必要がある。

#### 4 取組の状況と今後の方向性

##### ① 地域における異変発見の体制づくり

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の異変発見の役割を担う人となる地域支え合いサポーターの養成や、地域支え合いサポーターと協力した住民による地域の見守り・サロン活動の支援を行います。</li> <li>・地域支え合いサポーターと民生委員、自治会・集落、老人クラブ、その他の自主グループ等の地域の主要な人材の関係づくりを支援します。</li> <li>・家庭を訪問する機会の多い新聞・郵便・宅配・ごみ収集等の事業者や、電気、水道、ガス等のライフライン事業者、商店、コンビニ、スーパー、銀行等と協力関係を築き、高齢者等の異変を早期に発見する仕組みを構築します。</li> </ul>
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>・救命ホルダーや救急医療キットの配布</li> <li>・要援護者情報の登録・更新</li> <li>・地域支え合い体制づくり事業補助金の自治会への交付</li> <li>・CSW（コミュニティワーカー）及び地域支え合いサポーター養成講座</li> <li>・民生委員等による訪問活動の実施</li> </ul>
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域支え合いサポーター等を養成すると共に地域支え合い体制づくり補助事業において、住民による支え合い体制の構築を進めるため、自治会や団体等に対して、支援を行う。</li> <li>・多世代交流拠点の整備を行う予定</li> <li>・地域懇談会を開催し地域の現状の話し合いを行う</li> </ul>

##### ② 住民による支え合い活動の推進

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者や障がい者が安心して住み慣れた地域で生活していくことが可能となるよう、地域での支え合い体制づくりを推進することを目的とする。</li> <li>・栄養バランスのとれた自立した食生活を維持していくことが困難と認められる高齢者に対し、疾病や転倒骨折の要因となる低栄養状態を改善し、健全な食生活を維持していくために必要な食事を摂取できるよう、個々の状態に応じて毎週の配食回数を定め食事（弁当）を提供する。</li> <li>・ボランティア活動の活性化を図るとともに、生きがいづくりに資するように、市民ボランティアにスタンプカードを発行し、活動実績に応じて商品券（地域通貨）を交付する。</li> </ul>
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>・救命ホルダーや救急医療キットの配布</li> <li>・要援護者情報の登録・更新</li> <li>・地域支え合い体制づくり事業補助金の自治会への交付</li> <li>・CSW（コミュニティワーカー）及び地域支え合いサポーター養成講座</li> <li>・配食サービスの提供</li> <li>・ケアマネージャー等の専門職がアセスメントを行い、必要な配食数を市が決定している。</li> <li>・利用者負担金 350円～550円（課税状況により決定）</li> <li>・社会福祉協議会が設置する実行委員会に補助金を交付</li> <li>・地域支え合い体制に取り組む自治会がボランティアスタンプと連動させて地域課題に取り組み始めた。</li> </ul>
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域支え合いサポーター等を養成すると共に地域支え合い体制づくり補助事業において、住民による支え合い体制の構築を進めるため、自治会や団体等に対して、支援を行う。</li> <li>・多世代交流拠点の整備を行う予定</li> <li>・地域懇談会を開催し地域の現状の話し合いを行う</li> </ul> <p>・配食サービス事業は、これまで市内業者に委託していたため、他市に比べて高額なコストを投入していたが、年度途中から他市同様の専門業者を導入して1食あたりコストを縮減した。</p> <p>・令和元年度から利用者負担額1食当たり350円と550円に増額変更した。</p> <p>・ボランティアスタンプ事業は、銀行窓口での換金金額の予測が困難であり、残高不足が生じることがあるため、実行委員会で換金手続きが可能か検討する。</p> <p>・事務移譲について、社会福祉協議会と協議を行う。</p> <p>・成果指標について、商品券利用者数に変えて、ボランティア受入機関スタンプ押印数とする。</p> <p>・自治会によるボランティアスタンプ活動が伸びており継続支援が必要である。</p> <p>・活動資材の購入に充てている団体からは大型ホームセンターで使用出来るようにしてほしいと要望がある。</p>

③ 複合的な課題に対応する専門的な体制の強化

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉計画を策定し、その実現に向けて市民協働の体制づくりに必要な事業を行う。</li> <li>・コミュニティソーシャルワーカーと地域包括支援センターや保健師、社会福祉協議会等の関係機関との連携を推進し、公的な福祉サービスによるきめ細かな対応を図ります。</li> <li>・行政機関や地域住民、福祉事業者等の関係者のネットワークづくりと定期的な情報交換を目的として、地域ケア会議等の協議の場を設けます。</li> </ul>
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3期胎内市地域福祉計画の策定（地域ちやぶ台プラン3）</li> <li>・多世代交流拠点「ミンナトコ」の整備を行うため、CSW（コミュニティソーシャルワーカー）、地域支え合いサポーター、関係機関との準備調整を行ったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、オープニングイベントや、開催を延期した。</li> <li>※ミンナトコは、多世代の方々が交流できる居場所と、ひきこもりの方が相談や気軽に寄れる場所</li> <li>・地域支え合いサポーターの養成講座</li> </ul>
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉懇談会と協働座談会の区別が住民につきにくいいため、地域福祉懇談会の持ち方を検討する必要がある。</li> <li>・第3期地域福祉計画が策定され、計画期間令和2年度～令和5年度の計画内容の実施と検証を行う。</li> <li>・地域福祉計画の成果指標にある多世代交流できる施設や旧小学校区ネットワーク会議の開催など地域の支え合いを推進するため、モデル地区を選定し、取組みを進めていく。</li> <li>・福祉まるごと相談窓口と連携し、複合的な課題に対する体制強化を図る。</li> </ul>

④ 分野の壁を越えた情報交換や交流の促進

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援制度やイベント等の開催の周知を行う際には、分野の壁を越えて役に立つ情報を手に入れられるよう健康・福祉・まちづくり等の様々な分野の情報を集約して提供します。</li> <li>・ほかの地域の活動団体や関連する分野の活動団体と情報交換ができるような交流の場づくりに取り組みます。</li> </ul>
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉懇談会において胎内市社会福祉協議会と合同で行ってきたことに加え、総合政策課行革協働係もオブザーバー参加し、市民協働の手法を共同で検討してきた。今後も、関係団体と情報の共有を図り進めていく。</li> </ul>
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉フォーラムを開催し、自治会・団体の取組みを紹介しているが、他課・他団体で類似する講演会が多く開催されていることから、合同で開催できるものがないか引き続き検討する。</li> </ul>

5 施策の今後の方針

施策方針	○ 維持
施策方針に関する説明	<p>少子高齢化や核家族化が進み、さらには個人の価値観の多様化や生活形態等の変化もあって、家庭や地域でお互いに支え合う営みが弱くなってきており、共に支え合う、助け合うという社会的なつながりも希薄になってきている。加えて、高齢の親と無職で独身や障がいのある50代の子が同居することによって起きる問題（8050問題）やひきこもり、ニート、虐待、自殺、介護と育児が同時に直面するダブルケアの課題などが社会問題となっている。</p> <p>高齢者や障がい者など誰もが住み慣れた地域で安心、快適に暮らし続けられるよう、「地域共生社会」の実現に向け「地域の支え合い体制づくり」の推進が必要である。</p>

II 施策を構成する事業等

事業 コード	事務事業名	R1		R2		達成度	施策目標 に対する 貢献	一次評価 今後の 方向性	二次評価 今後の 方向性	主な事業	担当課
		事業費	うち 一般財源	当初予算額	うち 一般財源						
230210	地域支え合い体制づくり事業	2,610	1,067	4,520	2,889	◎	○	②	②		福祉介護課
230310	胎内市地域福祉計画推進事業	311	311	533	533	×	○	④	④	○	福祉介護課
230214	ボランティアスタンプ事業	600	600	1,148	1,148	△	○	③	③		福祉介護課
230211	高齢者配食サービス事業	6,025	3,845	6,626	3,631	○	○	③	③		福祉介護課
239910	社会福祉補助金交付事業	54,409	54,258	56,175	56,164	◎	○	③	③		福祉介護課

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	230210		担当課	福祉介護課	担当係	地域福祉係				
事務事業名	地域支え合い体制づくり事業			事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計		
基本政策	2	健康・福祉	事業コード	大	23	地域福祉	予算科目	款	03	民生費
施策	9	地域福祉		中	02	住民による支え合い活動の推進		項	01	社会福祉費
				小	10	地域支え合い体制づくり事業		目	03	老人福祉費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令				関連計画	第7期胎内市高齢者保健福祉計画	
	法令による義務付け			関連条例						

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	高齢者や障がい者が安心して住み慣れた地域で生活していくことが可能となるよう、地域での支え合い体制づくりを推進することを目的とする。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>救命ホルダーや救急医療キットの配布</li> <li>要援護者情報の登録・更新</li> <li>地域支え合い体制づくり事業補助金の自治会への交付</li> <li>CSW（コミュニティワーカー）及び地域支え合いサポーター養成講座</li> </ul>
実施方法	市が直接実施＋補助・負担

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	6,432	5,102	2,610	4,520	
国・県支出金	0	3,266	1,543	1,631	
地方債	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	
一般財源	6,432	1,836	1,067	2,889	
人件費（千円）	68	1,014	760		
正（h）※事業費	37	400	400		
臨時（h）※事業費	0	320	0		
総事業費＋人件費	6,500	6,116	3,370		
財源「その他」内訳	補助金371千円（地域支え合い体制づくり補助金4団体）、報償費213千円（いきいき生活支援員派遣謝礼19名分等）、印刷製本費146千円（地域フォーラム講演会チラシ、ポスター等）				
事業費の主な支出内容					

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
産出指標	名称	お茶の間サロン補助金申請件数	お茶の間サロン補助金申請件数	専門職による訪問（アウトリーチ）回数	地域支え合いサポーター研修開催回数	地域支え合いサポーター研修開催回数
	目標	4件	6件	200回	2回	2回
	実績	9件	6件	0回		
成果指標	名称	お茶の間サロン補助金決定件数	お茶の間サロン補助金決定件数	地域支え合いサポーター修了者数	地域支え合いサポーター修了者数	地域支え合いサポーター修了者数
	目標	4件	6件	40人	57人	58人
	実績	7件	6件	57人		
	目標比	175.0%	100.0%	142.5%		

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度	◎	◎	◎		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	地域支え合いサポーター修了者数の成果指標を達成しているため。				

5 事業の点検項目

事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか	○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い	○			
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか	○			
	○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない				
類似した事業が実施されていないか	○：類似事業がない ×：類似事業がある	○			
	住民等の参画、協働は可能か	実施			
	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済				
民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	×			
	協働または民間への外部化が不可能な理由	補助金交付や個人情報管理のため。			
事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か	○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要	○			
	事業費や人件費に削減の余地はないか	○			
	○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり				
受益者負担は事業コストに対して適正か	○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない	-			
	単位コスト				
	算出方法				
実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

地域支え合い体制づくり事業補助金について対象事業を改め、平成30年までは事業実施に必要な旅費、需用費、役務費、工事請負費、備品購入費、委託料、使用料及び賃借料とし上限補助額を70万円としていたものを、令和元年度より、新たな地域支え合い体制活動の経費として、需用費、役務費、備品購入費、使用料及び賃借料とし上限補助額10万円とした

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	②
課題及び今後の対応方法	<p>少子高齢化・無縁化の進展、制度の狭間で支援を受けられない方の増加に伴い、地域支え合い体制・活動の必要性が重要視されている。今後も地域支え合いサポーター等を養成すると共に、地域支え合い体制づくり補助事業において、住民による支え合い体制の構築を進めるため、自治会や団体等に対して支援を行う。子どもから、高齢者まで様々な方々が交流できる場を提供するため、多世代交流拠点の整備を行う。</p>

8 二次評価

今後の方向性	②																										
所見	今後の方向性	②																									
	成果の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>◎</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>◎</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>◎</td> <td>⑥</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> </table>	拡充	◎	④	②	①	維持	◎	⑤	③	◎	縮小	◎	⑥	◎	◎	休廃止	◎	◎	◎	◎	削減	◎	◎	◎	◎
	拡充	◎	④	②	①																						
	維持	◎	⑤	③	◎																						
	縮小	◎	⑥	◎	◎																						
休廃止	◎	◎	◎	◎																							
削減	◎	◎	◎	◎																							
コスト投入の方向性																											

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	230310		担当課	福祉介護課	担当係	地域福祉係					
事務事業名	胎内市地域福祉計画推進事業			事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計			
基本政策	2	健康・福祉	事業コード	大	23	地域福祉	予算科目	款	03	民生費	
施策	9	地域福祉		中	03	複合的な課題に対応する専門的な体制の強化		項	01	社会福祉費	
				小	10	胎内市地域福祉計画推進事業		目	01	社会福祉総務費	
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令	社会福祉法						
	法令による義務付け			関連条例				関連計画	胎内市地域福祉計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	地域福祉計画を策定し、その実現に向けて市民協働の体制づくりに必要な事業を行う。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域福祉計画の策定</li> <li>地域福祉懇談会</li> <li>地域福祉フォーラム</li> </ul>
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	659	60	311	533	
国・県支出金	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	
一般財源	659	60	311	533	
人件費（千円）	475	483	570		
正(h) ※事業費	258	260	300		
臨時(h) ※事業費	0	0	0		
総事業費+人件費	1,134	543	881		
財源「その他」内訳	・地域福祉計画策定経費（地域福祉計画推進委員謝礼165千円、時間外勤務手当103千円）				
事業費の主な支出内容					

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
産出指標	名称	地域福祉懇談会開催箇所数	地域福祉懇談会開催箇所数	地域福祉懇談会開催箇所数（協働座談会含む）	地域福祉懇談会開催数	地域福祉懇談会開催数
	目標	4か所	8か所	15か所	4か所	4か所
	実績	2か所	3か所	2か所		
成果指標	名称	地域支え合いサポーター修了者数	地域支え合いサポーター修了者数	地域福祉懇談会開催箇所数（協働座談会含む）	地域課題の解決数	地域課題の解決数
	目標	40人	40人	15か所	1	1
	実績	63人	44人	2か所		
	目標比	157.5%	110.0%	13.3%		

4 達成度

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度	◎	◎	×		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	成果指標である地域福祉懇談会の開催ができなかったため。				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか ○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い	○				
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない	○				
	類似した事業が実施されていないか ○：類似事業がない ×：類似事業がある	○				
	住民等の参画、協働は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	実施				
	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	△				
	協働または民間への外部化が不可能な理由					
効率性	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要	△				
	事業費や人件費に削減の余地はないか ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり	○				
	受益者負担は事業コストに対して適正か ○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない	-				
	単位コスト	算出方法	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	実績					

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

胎内市地域福祉計画推進委員会を開催し、地域ちやぶ台プラン2（第2期胎内市地域福祉計画・第3次胎内市地域福祉活動計画）の検証・評価を行い、地域ちやぶ台プラン3（第3期胎内市地域福祉計画・第4次胎内市地域福祉活動計画）を策定した。

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	④
課題及び今後の改善方法の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域福祉懇談会と協働座談会の区別が住民につきにくいいため、地域福祉懇談会の持ち方を検討する必要がある。</li> <li>第3期地域福祉計画が策定され、計画期間令和2年度～令和5年度の計画内容の実施と検証を行う。</li> <li>地域福祉計画の成果指標にある多世代交流できる施設や旧小学校区ネットワーク会議の開催など地域の支え合いを推進するため、モデル地区を選定し、取組みを進めていく。</li> </ul>

8 二次評価

今後の方向性	④				
所見	方法を検討した上で、今後、地域福祉に関する懇談を実施する回数を増やす。				
成果の方向性	拡充	◎	◎	◎	◎
	維持	◎	◎	◎	◎
	縮小	◎	◎	◎	◎
	休廃止	◎	◎	◎	◎
	削減	◎	◎	◎	◎
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	230214		担当課	福祉介護課	担当係	地域福祉係				
事務事業名	ボランティアスタンプ事業			事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計		
基本政策	2	健康・福祉	事業コード	大	23	地域福祉	予算科目	款	03	民生費
施策	9	地域福祉		中	02	住民による支え合い活動の推進		項	01	社会福祉費
				小	14	ボランティアスタンプ事業		目	01	社会福祉総務費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令						
	法令による義務付け			関連条例				関連計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	ボランティア活動の活性化を図るとともに、生きがいに資するように、市民ボランティアにスタンプカードを発行し、活動実績に応じて商品券（地域通貨）を交付する。
主な実施内容	・社会福祉協議会が設置する実行委員会に補助金を交付
実施方法	補助・負担

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	716	889	600	1,148	
国・県支出金	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	
一般財源	716	889	600	1,148	
人件費（千円）	28	37	38		
正(h) ※事業費	15	20	20		
臨時(h) ※事業費	0	0	0		
総事業費+人件費	744	926	638		
財源「その他」内訳	ボランティアスタンプ補助金 582千円				
事業費の主な支出内容					

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	登録ボランティア数	登録ボランティア数	登録ボランティア数	登録ボランティア数	登録ボランティア数
	目標	450人	470人	500人	750人	765人
	実績	637人	731人	795人		
成果指標	名称	商品券利用者数	商品券利用者数	商品券利用者数	商品券利用者数	商品券利用者数
	目標	150人	300人	375人	240人	244人
	実績	177人	234人	183人		
	目標比	118.0%	78.0%	48.8%		

4 達成度

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度	◎	△	△		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	成果指標の対目標比実績による。				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか ○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い	○
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない	○
	類似した事業が実施されていないか ○：類似事業がない ×：類似事業がある	○
実施	住民等の参画、協働は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	実施
	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	実施
効率性	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要	△
	事業費や人件費に削減の余地はないか ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり	○
	受益者負担は事業コストに対して適正か ○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない	-
単位コスト	算出方法	
	実績	平成29年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

（該当なし）

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	③
課題及び今後の対応方法	・現在、各銀行に換金の前年度実績を踏まえ入金しているが、各銀行での換金予測が困難であり残高不足が生じることがあるため、実行委員会（胎内市社会福祉協議会）で換金手続きが可能か検討する。 ・事務移譲について、社会福祉協議会と協議を行う。 ・成果指標について、商品券利用者数に代えて、ボランティア受入機関スタンプ押印数とした方がボランティア活動自体の成果を表した指標と思われる。

8 二次評価

今後の方向性	③																														
所見	今後の方向性	③																													
	成果の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>×</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td>⑥</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="5">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	拡充	×	④	②	①	維持	×	⑤	③	×	縮小	×	⑥	×	×	休廃止	⑦	×	×	×		削減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性			
拡充	×	④	②	①																											
維持	×	⑤	③	×																											
縮小	×	⑥	×	×																											
休廃止	⑦	×	×	×																											
	削減	縮小	維持	拡大																											
コスト投入の方向性																															

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	230211		担当課	福祉介護課	担当係	地域福祉係				
事務事業名	高齢者配食サービス事業			事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計		
基本政策	2	健康・福祉	事業コード	大	23	地域福祉	予算科目	款	03	民生費
施策	9	地域福祉		中	02	住民による支え合い活動の推進		項	01	社会福祉費
				小	11	介護予防配食サービス事業		目	03	老人福祉費
事務区分	法定受託事務		自治事務		○	根拠法令				
	法令による義務付け		任意			関連条例	関連計画	第7期高齢者保健福祉計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	栄養バランスのとれた自立した食生活を維持していくことが困難と認められる高齢者に対し、疾病や転倒骨折の要因となる低栄養状態を改善し、健全な食生活を維持していくために必要な食事を摂取できるように、個々の状態に応じて毎週の配食回数を定め食事（弁当）を提供する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配食サービスの提供</li> <li>・ケアマネージャー等の専門職がアセスメントを行い、必要な配食数を市が決定している。</li> <li>・利用者負担金 350円～550円（課税状況により決定）</li> </ul>
実施方法	委託

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	11,545	10,908	6,025	6,626	
国・県支出金	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	
その他	2,499	2,391	2,180	2,995	
一般財源	9,046	8,517	3,845	3,631	
人件費（千円）	184	186	190		
正(h) ※事業費	100	100	100		
臨時(h) ※事業費	0	0	0		
総事業費+人件費	11,729	11,094	6,215		
財源「その他」内訳	高齢者配食サービス利用者負担金 2,180,250円				
事業費の主な支出内容	普通食調理 3,947,697円 特別食調理 806,508円 配達・安否確認委託 1,249,214円				

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	年間利用人数	年間利用人数	年間利用人数	年間利用人数	年間利用人数
	目標	130人	130人	130人	80人	80人
	実績	125人	111人	82人		
成果指標	名称	在宅生活継続率 (年度末在宅配食利用者÷年間配食利用者数延べ人数)	在宅生活継続率	在宅生活継続率	在宅生活継続率	在宅生活継続率
	目標	90%	90%	90%	90%	90%
	実績	75%	91%	87%		
	目標比	83.0%	101.0%	97.5%		

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度	○	◎	○		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	利用者の多くが在宅生活を継続していて事業目標を概ね達成したと言える。				

5 事業の点検項目

事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか	○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い	○										
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか	○										
	○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない											
類似した事業が実施されていないか	○：類似事業がない ×：類似事業がある	×										
	住民等の参画、協働は可能か	×										
	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済											
民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	実施										
	協働または民間への外部化が不可能な理由											
	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か	○										
事業費や人件費に削減の余地はないか	○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要	○										
	○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり											
	受益者負担は事業コストに対して適正か	○										
効率性	○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない											
	算出方法	委託費総額÷総配食数 6,003,417÷5,393=1,113円										
	実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>989円</td> <td>1,017円</td> <td>1,113円</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	989円	1,017円	1,113円	
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度							
989円	1,017円	1,113円										

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

R1年度途中より配食委託業者を市内事業者から市外の配食専門業者に変更したことで配食弁当に係る単価が安くなり、委託料の減額につながった。また、配食弁当の利用者負担金を、非課税世帯200円から350円に、課税世帯300円を550円（普通食・特別食）に変更した。

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	③
課題及び改善後の対応	今後も、栄養バランスのとれた自立した食生活を維持していくことが困難と認められる高齢者に対し、疾病や転倒骨折の要因となる低栄養状態を改善し、健全な食生活を維持していくために必要な食事を摂取できるように、配食弁当を提供する。

8 二次評価

今後の方向性	③																																																
所見																																																	
今後の方向性	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">今後の方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>拡充</td> <td>×</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td>⑥</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="4">コスト投入の方向性</td> </tr> </tbody> </table>	今後の方向性				拡充	×	④	②	①	維持	×	⑤	③	×	縮小	×	⑥	×	×	休廃止	⑦	×	×	×	削減	×	×	×	×	縮小	×	×	×	×	維持	×	×	×	×	拡大	×	×	×	×	コスト投入の方向性			
今後の方向性																																																	
拡充	×	④	②	①																																													
維持	×	⑤	③	×																																													
縮小	×	⑥	×	×																																													
休廃止	⑦	×	×	×																																													
削減	×	×	×	×																																													
縮小	×	×	×	×																																													
維持	×	×	×	×																																													
拡大	×	×	×	×																																													
コスト投入の方向性																																																	

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	239910		担当課	福祉介護課	担当係	地域福祉係				
事務事業名	社会福祉補助金交付事業			事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計		
基本政策	2	健康・福祉	事業コード	大	23	地域福祉	予算科目	款	03	民生費
施策	9	地域福祉		中	99	その他		項	01	社会福祉費
				小	10	社会福祉補助金交付事業		目	01	社会福祉総務費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令						
	法令による義務付け			関連条例				関連計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	社会福祉法人又は社会福祉団体が行う各種福祉事業のうち、市が推進する必要があると認める公益性の高い事業に対し補助金を交付することにより、福祉の充実を図る。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助金の交付</li> <li>社会福祉協議会事務費補助金 42,654,000円</li> <li>社会福祉協議会事業費補助金 2,277,000円</li> <li>民生児童委員協議会連合会 7,327,000円</li> <li>遺族会補助金 1,200,000円</li> <li>ボランティア連絡協議会補助金 150,000円</li> <li>身体障害者福祉協会補助金 110,000円</li> <li>手をつなぐ育成会 40,000円</li> <li>福祉タクシー利用券助成費補助金 500,000円</li> </ul>
実施方法	補助・負担

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	55,006	51,289	54,409	56,175	
国・県支出金	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	
その他	101	58	151	11	
一般財源	54,905	51,231	54,258	56,164	
人件費（千円）	44	45	46		
正(h) ※事業費	24	24	24		
臨時(h) ※事業費	0	0	0		
総事業費+人件費	55,050	51,334	54,455		
財源「その他」内訳	社会福祉事業寄付金 150千円 地域福祉基金利子 1千円				
事業費の主な支出内容	「主な実施内容」のとおり				

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	補助金等交付団体数	補助金等交付団体数	補助金等交付団体数	補助金等交付団体数
	目標	8団体	8団体	8団体	8団体
	実績	8団体	8団体	8団体	
成果指標	名称	各補助事業の達成率	各補助事業の達成率	各補助事業の達成率	各補助事業の達成率
	目標	100%	100%	100%	100%
	実績	100%	100%	100%	
	目標比	100.0%	100.0%	100.0%	

4 達成度

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度	◎	◎	◎		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	目標を達成している。				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか	○
	○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い	
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか	○
	○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない	
効率性	類似した事業が実施されていないか	○
	○：類似事業がない ×：類似事業がある	
	住民等の参画、協働は可能か	×
	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	
単位コスト	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か	×
	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	
	協働または民間への外部化が不可能な理由	交付事務のため
	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か	○
単位コスト	○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要	
	事業費や人件費に削減の余地はないか	△
	○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり	
	受益者負担は事業コストに対して適正か	○
単位コスト	○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない	
	算出方法	
単位コスト	実績	
		平成29年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

各団体には、本市財政状況を理解いただき団体の経費削減依頼を行っているものの、最低賃金の引上げ等による人件費の増加などがあり大幅な削減には繋がっていない。

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	③
課題及び今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>各補助事業の補助金交付要綱に定めるところにより事業が実施され、一定の成果が収められていると認められる。現状では交付された補助金が有効に活用されているところである。今後も各団体との協議を通じて実情を把握し、補助金の適正な交付に努めなければならない。</li> <li>社会福祉協議会や民生児童委員協議会、遺族会等、補助金がないと事業実施が困難な団体の活動経費であり、義務的経費の性格が強い。</li> <li>単発的に特定財源を得られるよう活動を工夫しても継続性に難がある。</li> </ul>

8 二次評価

今後の方向性	③																										
所見	今後の方向性	③																									
	成果の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>×</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td>⑥</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> </table>	拡充	×	④	②	①	維持	×	⑤	③	×	縮小	×	⑥	×	×	休廃止	⑦	×	×	×		削減	縮小	維持	拡大
	拡充	×	④	②	①																						
	維持	×	⑤	③	×																						
	縮小	×	⑥	×	×																						
休廃止	⑦	×	×	×																							
	削減	縮小	維持	拡大																							
コスト投入の方向性																											